

デンマークデザインの系譜



Halskov & Dalsgaard ハルスコウ&ダルスゴー

現代のデンマーク・デザインの継承者の中に、女性デュオの「ハルスコウ&ダルスゴー」がいる。フィン・ユールと同じくデンマーク王立芸術アカデミーを卒業した、美しき2人だ。同級生のクリスティーナ・ハルスコウとハンヌ・ダルスゴー。スタジオ創設は1990年だが、2人の出会いは高校時代に遡る。就職は別々の事務所だったが、あるときハンヌが仕事で行き詰まっているときにクリスティーナに助けを求めたところ、建設的な意見が得られ、互いの信頼が増したという。

それがきっかけで、現在のようなデュオを組むことへとつながった。

彼女たちの代表作は、ステルトンというデンマークでは有名なステンレス商品のブランドのためにデザインしたフラワーベースだ。ガラスを組み合わせることで、男性的で無機質なステンレスに柔らかなイメージをもたせることに成功した。ほかにも、ランプや食器など幅広くプロダクトデザインを手がけている。「私たちのデザインは、機能を一番大切に考えています。そこに、質と芸術性を

加えていきます」

ハンヌ・ダルスゴーは言う。続けて、意外な意見をつけ加えた。

「デンマークデザインの根底には、日本デザインがあるのを知っていたかしら。40~60年代に、日本の生活様式がこの国に紹介されたんです。ミニマルで機能美



にあふれた日本の文化は私も大好きです。自然の取り入れ方や着物の色あわせなど、日常の色使いも芸術的だと感じるわね。そういったエッセンスは参考にしたい」

日本人がデンマークデザインに親しみを感じる理由の一端がのぞけたようだ。



(上)2人の仕事場。(上)ハルスコウ&ダルスゴーの2人、互いに「夫よりわかりあっているかも」と話す。これだけのパートナーを見つけるのは簡単なことではない。(左)これがステルトンのためにデザインしたフラワーベース「EMBRACE」。オブジェとしても美しいものを目指した。(右)デザインのスタイルは、まずフリーハンドで行う。コンピューター技術がデザインに影響を及ぼさないように、まずは手を動かす。「斬と芸術しているからアイデアが浮かびやすいし、自分自身をこまかせないのがフリーハンドなの」とハルスコウ

Contact
●ハルスコウ&ダルスゴー
www.halskovdalsgaard.dk